

実践哲学研究

第18号

定言命法と規則功利主義……………蔵田 伸雄 (1)

パーフィットの人格および人格同一性の
議論について……………奥野満里子 (21)

研究報告：共同体主義とは何か…………… (41)

彙 報…………… (89)

京都大学文学部倫理学研究室内
実践哲学研究会

实践哲学研究

第18号

彙報

1995年度倫理学講義題目

講義

教授 加藤尚武 倫理学概論

研究

教授 加藤尚武 応用倫理学

講師 水谷雅彦 倫理学と現象学

講師 平石隆敏 生命倫理の諸問題

講師 神崎 繁 「フロネーシス」の形成・崩壊・再生

演習

教授 加藤尚武 J. G. Fichte: *Grundlage des Naturrechts*

教授 加藤尚武 日本哲学史

総合人間学部 有福孝岳 I. Kant: *Kritik der Urteilskraft*
教授

教授 加藤尚武 倫理学の諸問題

購読

講師(宗教学) 仲原 孝 M. Heidegger: *Von der Wahrheit*

趣旨

われわれの社会が直面している現在の状況は、倫理学の重要性を日増しに痛感させるものである。しかしながら、ひとくちに倫理学といってもその対象は多岐にわたる。諸分野の共同なしには研究の進展はない。それゆえ、われわれ京都大学倫理学研究室大学院生は、みずからの研究を公にすることによって、広く諸姉兄の批判と判断を仰ぎ、各自の問題意識を深めると同時に相互の交流を図るべく、ここに『実践哲学研究』を発行する。

後記

- 1、 本年もここに第18号をお届けすることができました。これもひとえに皆様の貴重なご意見と暖かいご援助の賜物と感謝致しております。今後ともよろしくご指導のほどお願い致します。
- 2、 例年の通り、本号掲載論文の合評会を行う予定です。日時についてはあらためてご連絡差し上げますので、ご参加戴ければ幸いです。
- 3、 本号もまた、昨年を引き続き研究報告を組みました。今回は、倫理学研究室の院生を中心として読書会を続けてきた「共同体主義」についての研究報告です。皆様の忌憚のないご批評をお願い致します。
- 4、 当会では賛助会員制度を設け、会誌の読者の皆様にご支援をお願い致しております。例年多数の方々のご協力をいただき、誠にありがとうございます。当会では、会誌の充実を含め、なお一層の努力を致す所存でございますので、今後とも引続きご支援のほどよろしくお願い致します。なお、賛助会費は年一口千円をお願い致しております。
- 5、 近年の財政上の困難から、今年度も研究室内でコンピューターにより版下を作成させて頂きました。お見苦しい点多いかと思いますが、どうかご容赦願います。

発行 実践哲学研究会

〒606 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部倫理学研究室内
郵便振替 01020-1-27560

発行日

1995年11月1日

代表

加藤 尚武

**STUDIEN
ZUR
PRAKTISCHEN PHILOSOPHIE
(JISSENTETSUGAKU-KENKYU)**

Nr. 18 November 1995

INHALT

The Categorical Imperative and Rule-Utilitarianism
..... KURATA Nobuo (1)

Parfi's Argument about Persons and Personal
IdentityOKUNO Mariko (21)

On Communitarianism (41)

Verschiedenes..... (89)

VERÖFFENTLICHT UND HERAUSGEGEBEN VON
DER GESELLSCHAFT FÜR STUDIEN ZUR PRAKTISCHEN PHILOSOPHIE
AN DER UNIVERSITÄT KYOTO
(KYOTO DAIGAKU JISSENTETSUGAKU-KENKYU-KAI)
KYOTO JAPAN